

平和への誓い

私たちが生まれるずっと前、今から五十一年前に、広島に原子爆弾が落とされました。平和記念資料館には、その時の様子がくわしく伝えられています。

焼けただれてぼろぼろになった服。熱でとけた三輪車。八時十五分で止まったままの時計。たった一個の爆弾で広島^の街が焼け野原になった様子を見ると、原子爆弾がどんなに恐ろしいものかということがよく分かります。

どうして人間は、このような恐ろしいものをつくったのでしょうか…。一瞬^{いっしゅん}の内に何もかも奪^{うば}い去ってしまった原子爆弾を、そして戦争を、私たちは絶対に許すことはできません。

平和とは、みんなが安心して暮らせることです。生きていて楽しいことです。

でも、この地球上には、今も多くの核兵器があり、核実験が続けられています。また、戦争のために傷ついたり、亡くなったりする人たちもいます。

私たちは、これまで平和の大切さや世界の平和を築くために何をしたらよいかなどについて、多くのことを学びました。

それは、私たち一人一人が生命^{いのち}の尊さについて知り、生命あるものを大切にするとすることを世界の約束ごととして、守り続けていくことです。

そして、友達には、たとえ考え方が違^{ちが}っていても、相手の立場にたって考えたり、思いやりのある心で接することだと思えます。

あの日から五十一年目を迎^{むか}えた今日、私たちは、多くの人に苦しみを与えた原爆のことを伝えていくとともに、これからももっともっと勉強し、世界の平和のために、勇気を持ち、強くやさしく生きていくことを誓います。

平成8年（1996年）8月6日

子ども代表

広島市立倉掛小学校6年

広島市立井口小学校6年

いしはら
石原
さきま
佐々木
まり
せい
恵
じゅん
順